

授業科目	科目概要・形式	配当年次		
Evidence-based Practice 特論	1 単位 15 時間	1年 後期		
科目責任者	大西基喜			
担当者	八重ゆかり、大西基喜			
<p><b>1. 科目のねらい・目標</b></p> <p>Evidence-based Practice (EBP:根拠に基づいた保健医療実践) に必要とされる過程のうち、基本的な EBP の進め方、また Systematic review の手法につき、演習を通してその実践的な方法を理解していきます。</p>				
<p><b>2. 授業計画・内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な事例に基づいて、EBP の基本的手法を修得します <ul style="list-style-type: none"> <li>-臨床的問題から公衆衛生上の課題まで、複数の事例について EBP の進め方の討議を通じて理解します</li> <li>-上記の主題から選択した諸論文につき、critical appraisal を演習的に実施し、理解を深めます</li> <li>-全体を通して、総合的な critical thinking が可能になるような手法を修得します (大西担当分)</li> </ul> </li> <li>実際のランダム化試験論文を critical appraisal の手法で読むことにより、ランダム化試験の方法論 (原理) 、およびランダム化試験で用いられる主な統計解析手法の基本的知識を学び、研究デザインと統計解析手法は不可分の関係にあることを理解します。 (八重担当分)</li> </ul>				
<p><b>3. 教科書、参考書</b></p> <p>臨床研究を正しく評価するには: Dr. ファーバーグが教える 26 のポイント、折笠秀樹 監訳、ライフサイエンス出版、2013.</p> <p>その他、参考書・論文は適宜紹介します</p>				
<p><b>4. 成績評価方法</b></p> <p>出席の状況、演習結果、プレゼンテーションやレポートなどを勘案して、総合的に評価します。</p>				
<p><b>5. 受講要件</b></p> <p>EBP 概論の受講は望ましいが、必須ではありません。ただ、概論的な理解があることを前提とします。</p>				
<p><b>6. 社会人学生に対する配慮</b></p> <p>基本的に土曜日に開講します。</p>				
<p><b>7. その他</b></p>				